

会計名 一般会計			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	2					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財を市内外へ向けて広報することで、文化財の保護と啓発普及を図る。		主たる内容	○文化財の保存管理に関する業務 ○パンフレット「歴史の小径」の改定・印刷					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> ・椎の木屋敷跡他史跡管理 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（金沢市） ・歴史資料等の購入 ・全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の小径」の改定及び増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修（高岡市） ・歴史資料等の購入 ・全国史跡整備市町村協議会参加 ※椎の木屋敷跡他史跡管理は史跡管理事業へ移行 		<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の小径」の改定及び増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修 中止 ・歴史資料等の購入 ・全国史跡整備市町村協議会参加 中止 		<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の小径」の改定及び増刷 ・歴史資料等の購入事前調査及び購入 ・全国史跡整備市町村協議会参加 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の小径パンフレット「東海道編」「鎌倉街道編」「城下町周辺編」を改定、「城下町編」「一ツ木・築地・恩田編」「高津波・小山編」を増刷することで、文化財の啓発や史跡めぐりに生かすことができた。 ・刈谷に関わりのある貴重な歴史資料を購入することができた。 								
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。								
O 計画 V	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			33.2	—	30.0	46.0	46.0	
他市との比較検証										
C 事業 コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		5,694	2,636	793	3,092	合計	792,622 円		
	財源	特定財源	7	0	0	0	需用費	584,100 円		
		一般財源	5,687	2,636	793	3,092	役務費	3,060 円		
	職員人件費 ②		309	1,155	859	1,469	備品購入費	165,462 円		
	総事業費（①+②）		6,003	3,791	1,652	4,561	負担金、補助及び交付金	40,000 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化財保存管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	文化財を保護保存し未来へ伝えていく事業であり、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	令和2年度において文化財保護審議会の県外研修に関して見直しを行い、宿泊を伴わない形へ変更した。また、各種パンフレットについては、印刷製本費のコスト削減を目指し、ホームページ上から閲覧・印刷できるようにしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	文化財の適切な保護や保存は長期的な視点が求められており、愛知県文化財保護室や文化財保護審議会委員と連携をとって行う必要があることから、市が主体となって行うべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	文化財の啓発普及を図ることで、成果指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を増加させていき、郷土の魅力を高めることができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
文化財の啓発は、指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」が目標に達していないため、パンフレット「歴史の小径」改定をすすめ、市民に地域の文化財の啓発に努める。 また歴史博物館を核として、地域に眠っている魅力ある文化財の掘り起こしを行い、博物館で展示するなどの活用を図る。					

会計名		企画展開催事業				担当部	市民活動部	
一般会計						担当課	歴史博物館	
款	項					目	担当係	歴史博物館
10	6					14		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	歴史・文化財					
		施策の内容	歴史博物館の整備					
	目的	企画展を開催し、刈谷やその周辺の地域の歴史に関して学ぶ機会を提供する。また遠方の歴史資料を借用公開することで、様々な歴史資料に触れる機会を市民に提供する。	主たる内容	○企画展の開催 ○企画展関連イベント（ワークショップ、講演会、イベント）の開催 ○次期企画展開催の準備				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画					
		根拠法令	文化財保護法、博物館法					
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画		
		・水野勝成展の開催 5,922人 ・企画展関連イベントの開催 ・次期企画展開催の準備		・水野勝成展の開催 14,239人 ・はこぶものたち展の開催 4,503人 ・中条遺跡展の開催 5,652人 ・豊田佐吉・喜一郎展の開催 5,303人 ・企画展関連イベントの開催 ・次期企画展開催の準備	・歴史へのいざない展の開催 中止 ・戦時下の刈谷展の開催 中止 ・徳川家康の遺産展の開催 5,562人 ・収蔵品展の開催 2,565人 ・企画展関連イベントの開催 ・次期企画展開催の準備	・歴史へのいざない展の開催 ・戦時下の刈谷展の開催 ・豊臣秀次展の開催 ・次期企画展開催の準備 ※歴史へのいざない展開催事業、戦時下の刈谷展開催事業、豊臣秀次展開催事業、次期企画展開催準備事業へ移行		
成果		徳川家康の遺産展において、初めて国宝・重要文化財を公開し、多くの市民に文化財の質の高さや美しさを伝えることができた。						
課題		企画展の準備や運営方法において、よりコスト削減できる方法を検討する必要がある。						
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		企画展入場者数（人）		5,922	29,697	8,127	20,000	25,000
成果指標		来館者アンケートの満足度（%）		76.0	77.0	74.3	80.0	85.0
他市との比較検証		当館と同等面積の企画展示室を保有している近隣市は知立市と東浦町であるが、年1回程度しか企画展を開催しないため、当館との比較は難しい。						
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳
	事業費①		7,139	24,668	28,028	0	合計 28,027,994 円	
	財源	特定財源	204	525	2,570	0	報酬 2,021,572 円	
		一般財源	6,935	24,143	25,458	0	報償費 4,635,220 円 旅費 234,670 円 需用費 4,446,592 円 役員費 598,400 円 委託料 16,091,540 円	
	職員人件費②		6,172	10,782	9,109	0		
	総事業費（①+②）		13,311	35,450	37,137	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称		
2年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入 入場料				
4年度以降の事業費見込		0						

会計名			企画展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	14			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	博物館法第3条において、資料の展示に関する規定が明記されていることから、企画展の開催は博物館の主要な事業の一つである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	資料の借用公開にあたっては、輸送による資料の劣化や破損を防ぐと共に、公開中における資料の劣化を防止する最適な方法を検討した上で行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域の歴史に関する展示は、市民の郷土への愛着の向上につながることから、継続的に取り組む必要があり、指定管理者制度はなじまない。市立の博物館において魅力ある企画展を開催することは、郷土の歴史への愛着を深めることにもつながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	国宝・重要文化財をはじめ、普段は目に触れることのできない貴重な文化財を公開することで、市民の文化財保護や歴史への興味関心を高めることができ、ひいては生涯学習への意識を高めることができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<p>年数回、市民の興味関心を喚起するテーマを設定し、魅力ある企画展を開催していく。貴重な文化財の公開にあたっては一定のコストがかかるため、展示内容によっては入館料を設定し、一部受益者負担によって賄う。</p>					

会計名 一般会計			参加・体験型歴史文化教育普及事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	市民が歴史文化を学ぶ機会を創出し、郷土の歴史文化に対する誇りと愛着を育む。			主たる内容	○市内中学1年生向けの歴史博物館見学 ○歴史体験講座の開催 ○簡単工作づくりの開催 ○甲冑試着体験の開催				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	社会教育法、博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		_____		<ul style="list-style-type: none"> 市内中学1年生見学 1,376人 歴史体験講座開催 10回 簡単工作づくり開催 甲冑レプリカ試着体験開催 		<ul style="list-style-type: none"> 市内中学1年生見学 中止 歴史体験講座開催 10回 簡単工作づくり開催 甲冑レプリカ試着体験開催 中止 ミュージアムシアター開催 		<ul style="list-style-type: none"> 市内中学1年生見学 歴史体験講座開催 10回 簡単工作づくり開催 甲冑レプリカ試着体験開催 ミュージアムシアター開催 甲冑まつり開催 		
成果		歴史体験講座等イベントの開催により、歴史博物館来館者層の拡大を図ることができた。								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 歴史体験講座について、講座内容により参加申込者数に偏りがあるため、人気のある講座内容を把握し、より利用者のニーズにあった講座を開催できるよう検討していく必要がある。 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、いかに見学や講座を実施していくかをさらに検討する必要がある。 								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標	中学1年生見学者数（人）				—	1,376	—	1,350	1,350	
成果指標	歴史体験講座受講者数（人）				—	220	240	250	270	
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	3,790	1,143	6,445	合計 1,143,168 円			
	財源	特定財源	0	119	28	280	需用費 419,368 円			
		一般財源	0	3,671	1,115	6,165	委託料 594,000 円			
	職員人件費 ②		0	5,237	1,045	4,369	使用料及び賃借料 129,800 円			
	総事業費（①+②）		0	9,027	2,188	10,814				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		簡単工作参加料						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			参加・体験型歴史文化教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	歴史博物館
款	項	目		担当係	歴史博物館
10	6	14			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	博物館における教育普及活動は、博物館法第3条において博物館が行う事業の一つとして明記されており、必要性の高い事業である。また、中学校学習指導要領（社会科）において、「博物館、郷土資料館などの地域の施設の活用」が挙げられており、学校教育上必要な事業でもある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	学校見学については、指導主事と学芸員が連携して行い、継続して実施することで質の向上に努めている。また、歴史体験講座等については、業務委託で行っており、最大の効果を出せる状況にある。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	学校見学においては、現場を熟知している指導主事が学校と博物館の橋渡し役を務めている。また、歴史体験講座等においても学芸員の経験等が求められることから、市が主体となって実施するのが妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	教科書に載っていない地域の歴史を伝える施設は市内においても他にあるが、刈谷の歴史を総合的に伝える施設は博物館以外になく、市民に地元への愛着を持っていただく役割が期待されている。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
まだ開館して2年しか経過していないが、学校見学については学習指導要領の改定によって、内容を更新する必要がある。タブレット端末の導入やオンライン授業など学習環境が激変している中で、博物館に求められている役割を常に意識し、時代に沿った教育普及事業を展開していく必要がある。					

会計名 一般会計			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部			
款	項	目					担当課	歴史博物館			
10	6	1					担当係	歴史博物館			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	歴史に関わる資料の調査・整理を行うことで、歴史資料の保存と活用を図る。				主たる内容	市内外における歴史資料を調査・整理し、目録を作成する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法							
			対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成7年度 ~			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 5回 資料整理の実施 新聞データの整理 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 13回 資料整理の実施 新聞データの整理 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 14回 資料整理の実施 新聞データの整理 		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査の実施 15回 資料整理の実施 新聞データの整理 			
成果		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。 整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。 									
課題		新しい資料整理に時間を要しているため、今後その資料内容の分析を行う必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		調査回数（回）				5	13	14	15	15	
活動指標											
他市との比較検証		名古屋市と安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		4,924	4,949	5,649	8,787	合計	5,649,426 円			
	財源	特定財源	196	185	76	30	報酬	2,912,508 円			
		一般財源	4,728	4,764	5,573	8,757	職員手当等	334,527 円			
	職員人件費 ②		1,157	3,196	2,389	3,880	旅費	49,020 円			
	総事業費（①+②）		6,081	8,145	8,038	12,667	需用費	2,346,771 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入							
4年度以降の事業費見込		0									

会計名			埋蔵文化財調査整理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	歴史博物館	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	埋蔵文化財の保存・活用を図る。			主たる内容	試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した遺物および調査記録を整理・保存する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
			根拠法令	文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 760件 ・試掘調査 36件 ・工事立会 29件 ・緊急発掘調査 2件 ※発掘調査出土遺物整理事業と埋蔵文化財発掘調査事業から移行		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 388件 ・試掘調査 30件 ・工事立会 30件 ・緊急発掘調査 3件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 408件 ・試掘調査 25件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 1件		・市内遺跡出土遺物の整理 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測） ・窓口照会 400件 ・試掘調査 30件 ・工事立会 30件 ・緊急発掘調査 2件	
成果		A1判の遺跡地図を窓口照会者に配布することで、窓口照会業務の効率化・職員の負担軽減をすることができた。緊急発掘調査は、調査規模が比較的小さかったが、施主や施工業者と調整しつつ、適正な記録保存を行うことができ、1次整理まで実施することができた。							
課題		文化財保護法に基づく発掘届が提出される前に土地売買のための整地が行われ、削平・滅失した事例があるため、事前申請についてより周知していく必要がある。とくに市域北部の古窯群は山林や宅地化された市街に多くあり、窓口照会に適切に対応するためには現況を確認・把握する必要がある。							
他市との比較検証		・安城市では、埋蔵文化財の有無照会をはじめとする業務を基本的に歴史博物館で行っている。また、博物館では展示等を行う学芸係と発掘調査を含む文化財調査を行う文化財係に分かれている。 ・西尾市では、遺跡地図をGISで公開している。							
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		9,410	9,488	10,553	18,741	合計	10,553,194円	
	財源	特定財源	2	24	11	783	報酬	7,777,338円	
		一般財源	9,408	9,464	10,542	17,958	職員手当等	242,321円	
	職員人件費②		4,645	5,507	3,098	5,386	旅費	181,880円	
	総事業費（①+②）		14,055	14,995	13,651	24,127	需用費	109,703円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化財保存事業費補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	歴史博物館		
款	項	目					担当係	歴史博物館		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市指定文化財を適正に保存・管理し、文化財を後世に伝える。			主たる内容	○市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」の樹勢回復に対する補助				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	刈谷市文化財保護条例、刈谷市文化財保存事業費補助金交付要綱						
			対象者	指定文化財の所有者		事業期間	～			
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財を保管している野田史料館の空調改修工事費への補助 市指定文化財「野田雨乞笠おどり」で使用する法螺貝の補修に対する補助 		<ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財「静観堂屏風」の修復費に対する補助 市指定文化財「小垣江の山車」の幕の更新に対する補助 市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助 		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対する補助		
成果		市指定天然記念物「専光寺のクスノキ」樹勢回復に対して事業費の1/2を補助することで、貴重な文化財を良好な状態で後世に残すことができるよう支援することができた。								
課題		個人や団体等が所有する指定文化財の保存状態等の把握に関して、聞き取り確認やアドバイスを行うことのできる機会をもっと設ける必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		補助件数（件）			2	3	1	1	—	
指標										
他市との比較検証		近隣市の市指定文化財保存事業費補助金交付割合 ・文化財収蔵施設の建設（改修含む） 安城市… 1/3以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…1000万以内 ・無形民俗文化財の道具の修繕 安城市…10/10以内 岡崎市…3/5以内 豊田市…上限なし								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		441	11,576	108	121	合計		107,800 円	
	財源	特定財源	0	300	0	0	負担金、補助及び交付金		107,800 円	
		一般財源	441	11,276	108	121				
	職員人件費 ②		231	1,348	112	113				
	総事業費（①+②）		672	12,924	220	234				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名		史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	歴史博物館		
款	項					目	担当係	歴史博物館	
10	6					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が本市の文化財や歴史に気軽に触れ、学ぶことができる機会を提供することで、文化財の活用と歴史の啓発を図る。	主たる内容	○史跡めぐりの開催（年3回） ○市内学校の授業等に伴う歴史文化の学習支援					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	社会教育法、博物館法						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画			
		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：泉田・小山、元刈谷コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（1回：城下町コース※雨天、新型コロナウイルスの影響で2回は中止） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（2回：野田・半城土コース、重原コース※新型コロナウイルスの影響で1回は中止） 小学3年生体験学習における案内、説明 中止 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：東境、築地・恩田、元刈谷コース） 市内の学校の授業等に伴う歴史文化の学習支援 歴史博物館が依頼する事業への協力 			
成果		ボランティアの会会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心を持って活動している結果、史跡めぐり参加者からは好評をいただき、アンケートの結果からは9割以上の参加者から満足との評価を得た。							
課題		参加者の増加に伴い、駐車スペースの確保が課題となってきた。							
指標名称（単位）			実績値		目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		史跡めぐりの参加者数（人） （令和2年度より定員80人→50人に変更）		231	61	87	150	150	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		33.2	—	30.0	46.0	46.0	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	182	182	合計 181,624 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 9,624 円		
		一般財源	0	0	182	182	委託料 172,000 円		
	職員人件費 ②		0	0	448	565			
	総事業費（①+②）		0	0	630	747			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	歴史博物館			
款	項	目					担当係	歴史博物館			
10	6	2									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	これまでに市内で実施した遺跡の発掘調査について、報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般に公開し、本市の歴史研究の一助とする。				主たる内容	検出遺構や出土遺物に関する記述や考察等の文章データや画像データの作成・編集と報告書の印刷を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
		中条遺跡発掘調査報告書4（平成12年度調査分）刊行		—		本刈谷貝塚発掘調査報告書刊行		中手山貝塚発掘調査報告書刊行			
成果		平成13年度から15年度にかけて実施した愛知県史跡本刈谷貝塚の発掘調査の成果を広く一般に公開することができた。									
課題		現在は作業スペースや人員の制約で一年度中に1冊の報告書を刊行しているが、未報告のものが多くあるため、刊行のペースアップのために業者への委託を検討する必要がある。									
指標名称（単位）				実績値		目標値					
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		報告書刊行数（冊）		1		0		1		1	2
活動指標		報告書頒布部数（冊）		5		7		4		5	5
他市との比較検証		安城市や豊田市では、発掘調査後数年の内に複数の報告書を刊行している。 ・安城市の令和2年度報告書刊行数 2冊 ・豊田市の令和2年度報告書刊行数 3冊									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	1,676	1,750	合計 1,676,074 円				
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 150,000 円				
		一般財源	0	0	1,676	1,750	需用費 525,800 円				
	職員人件費 ②		0	0	3,024	5,311	委託料 1,000,274 円				
	総事業費（①+②）		0	0	4,700	7,061					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
2年度までの累積事業費		0									
4年度以降の事業費見込		0									

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	歴史博物館	
款	項	目					担当係	歴史博物館	
10	6	14							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史博物館を適正に維持管理することで、施設の環境を最適に保つ。			主たる内容	建物清掃委託や諸整備の管理業務委託など歴史博物館の維持管理を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画						
			根拠法令	博物館法、文化財保護法、刈谷市歴史博物館条例					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O A 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 電気工作物保安管理業務委託 樹木等管理業務委託 警備保障業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 		<ul style="list-style-type: none"> 建物清掃委託 空調設備保守管理業務委託 自動制御設備保守管理業務委託 消防用設備保守管理業務委託 エレベーター保守管理業務委託 ガスヒートポンプ保守点検業務委託 等 	
成果		施設、設備等を適切に維持管理することで、歴史資料や文化財を適切に保存・管理することができるとともに、市民に快適な鑑賞環境を提供することができた。							
課題		文化財保管のため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。							
		指標名称（単位）			実績値		目標値		
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
成果指標	総入館者数（人）				9,823	55,051	22,164	35,000	40,000
活動指標	平成30年度は3月24日～								
他市との比較検証									
C事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		87,808	34,520	38,065	47,702	合計	38,064,751 円	
	財源	特定財源	5	88	106	105	需用費	15,552,905 円	
		一般財源	87,803	34,432	37,959	47,597	役務費	449,481 円	
	職員人件費 ②		1,659	3,158	3,509	3,993	委託料	20,908,059 円	
	総事業費（①+②）		89,467	37,678	41,574	51,695	使用料及び賃借料	268,806 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入 文化芸術振興費補助金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			収蔵・展示等管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	展示・収蔵品および設備の管理を行うことで、展示品・収蔵品の劣化を防ぐとともに、地域の人々に歴史文化の魅力を提供する。			主たる内容	○歴史ひろば機器保守点検委託 ○お祭りひろば山車・万燈保守管理委託 ○燻蒸業務委託 ○文化財什器製作業務委託 ○展示品・収蔵品撮影委託 ○刀剣類保存作業業務委託				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
		根拠法令	博物館法、文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		_____		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 刀剣収納箱 7件 掛軸収納箱44件 ・展示品・収蔵品撮影委託 神代小町絵巻 1件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱13件 掛軸収納箱33件 ・展示品・収蔵品撮影委託 刀剣ほか 16件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件等		・歴史ひろば機器保守点検委託 ・燻蒸業務委託 2回 ・文化財什器製作業務委託 武器・武具用収納箱20件 屏風収納箱 2件 ・展示品・収蔵品撮影委託 刀剣ほか 10件 ・刀剣類保存作業業務委託 刀 1件等		
成果		・文化財什器である刀剣・掛軸の収納箱の製作により、これまで他の資料と同梱等されていた資料をそれぞれの箱に納めることができ、資料の劣化を防ぐことができた。 ・刀剣類保存作業において、錆等により展示に堪えられなかった刀剣の研磨および保存用白鞘等の製作を行うことで、今後の展示等で活用できる状態になった。								
課題		計画的な撮影スケジュールを策定し、今後の研究や文化財活用に利用できるように画像データを整える必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		文化財什器製作数（件）			—	51	46	22	30	
活動指標		展示品・収蔵品撮影（件）			—	1	16	10	10	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	4,068	4,329	4,769	合計 4,329,230 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 37,800 円			
		一般財源	0	4,068	4,329	4,769	委託料 3,758,040 円			
	職員人件費 ②		0	963	784	1,168	備品購入費 533,390 円			
	総事業費（①+②）		0	5,031	5,113	5,937				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			収蔵品補修事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	市が所有している文化財の修繕を行い、文化財を後世に伝える。			主たる内容	歴史博物館の所蔵資料の修復を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和2年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		—		—		所蔵資料4点の修復を行った。 ・掛軸「松本奎堂他書幅」 ・掛軸「土井利祐書幅」 ・掛軸「三浦明次書幅」 ・屏風「月儂図屏風」		所蔵資料の修復を行う。 ・掛軸「大正新田開墾の沿革」		
成果		所蔵資料の修復を行い、市民の財産である文化財を将来へ継承するとともに、展示が可能となった。								
課題		市が所蔵する歴史資料の保存状態の調査をする必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標	収蔵品修復件数（件）				—	—	4	1	3	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	4,924	500	合計		4,923,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		4,923,600 円	
		一般財源	0	0	4,924	500				
	職員人件費 ②		0	0	411	414				
	総事業費（①+②）		0	0	5,335	914				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			収藏品管理システム管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	歴史博物館		
10	6	14					担当係	歴史博物館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史博物館の整備							
	目的	歴史博物館の収藏品を適切に管理する。			主たる内容	歴史博物館の収藏品管理システムを管理・運用する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画							
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		—		収藏品管理システムによる収藏品データの公開		・収藏品管理システムによる収藏品データの公開 ・収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」の導入及び展示解説		・収藏品管理システムによる収藏品データの公開 ・収藏品管理システムを利用したスマートフォンアプリ「ポケット学芸員」による展示解説		
成果		・来館者閲覧向けデータベースの整理を行い、来館者の利便性向上に寄与することができた。 ・ポケット学芸員の導入により、さらに詳しい展示解説を展開することができ、かつ場所を選ばずに自宅でも手軽に展示解説を見ることが可能となった。								
課題		・一部の歴史資料及び考古資料の情報が整理しきれていないため、引き続き整理を進める必要がある。 ・現在収藏品管理システムは館内端末でしか閲覧できないため、HP等で公開し、更に利用者の利便性を向上していく必要がある。								
	指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標	資料閲覧件数（件）			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
				—	217	100	230	230		
	他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	468	580	838	合計	580,482 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	88,848 円		
		一般財源	0	468	580	838	委託料	95,634 円		
	職員人件費 ②		0	578	784	791	使用料及び賃借料	396,000 円		
	総事業費（①+②）		0	1,046	1,364	1,629				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								